



2015年10月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 コーポレートガバナンス推進担当
 IR・グループ広報
 TEL 03-6895-0178

2015年9月度 J. フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
百貨店事業	2.6
パルコ事業	5.3
卸売事業	▲6.4
クレジット事業	3.8
その他事業	6.1
連結合計	3.4

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・9月度の百貨店事業の売上高は、上旬の降雨日数増や台風通過によるマイナス影響を受けたものの、全社販促「秋のサンクスフェスティバル」を実施したシルバーウィークの期間が好天に恵まれたことにより、ファッション衣料雑貨が活発に動くとともに、美術宝飾品、ラグジュアリーブランド、化粧品なども好調に推移したことから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年2.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同2.6%増となった。

2) パルコ事業

- ・化粧品、バッグ、靴などの身回品が、訪日外国人客による売上の押し上げ効果などもあり好調に推移したほか、シルバーウィーク期間中に実施したカード顧客向け優待企画が奏功し秋物衣料が活発に動いたことに、家具を含む雑貨などの好調も加わったことから、パルコ事業全体では対前年5.3%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、電子デバイスが好調を持続したものの、食品・リテール事業の苦戦により、対前年▲6.4%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、外部加盟店手数料のほか、割賦販売手数料や年会費収入なども増加したことから、対前年3.8%増となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装が百貨店やホテル、大型客船等の内装工事の売上計上により大幅増となったほか、不動産開発・賃貸事業の大丸コム開発や、人材派遣業のディンプルなどの好調により、対前年6.1%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートガバナンス推進担当
		IR・グループ広報
TEL	03-6895-0178	
FAX	03-6674-7565	

2015年9月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	9月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	9.8	0.4
大丸 梅田店	7.7	▲2.7
大丸 東京店	7.7	4.5
大丸 浦和パルコ店	▲0.7	▲1.2
大丸 京都店	▲1.8	▲3.9
大丸 山科店	▲1.5	▲2.9
大丸 神戸店	3.4	▲0.9
大丸 須磨店	▲5.2	▲5.2
大丸 芦屋店	▲4.4	2.8
大丸 札幌店	0.2	▲2.5
松坂屋 名古屋店	3.1	▲1.5
松坂屋 上野店	▲7.2	▲2.8
松坂屋 静岡店	▲12.2	▲4.9
松坂屋 高槻店	▲5.8	▲6.0
松坂屋 豊田店	2.1	3.6
大丸松坂屋百貨店合計	2.6	▲1.0
博多大丸	6.3	0.1
下関大丸	▲7.4	▲9.4
高知大丸	1.2	▲3.6
百貨店事業合計	2.6	▲1.1

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
紳士服・洋品	▲2.9
婦人服・洋品	▲0.7
子供服・洋品	0.6
その他の衣料品	▲5.6
衣料品計	▲1.2
身 回 品	3.4
化粧品	18.6
美術・宝飾・貴金属	23.0
その他雑貨	16.5
雑 貨 計	20.3
家 具	7.0
家 電	▲33.4
その他の家庭用品	▲5.5
家庭用品計	▲4.0
生 鮮	▲3.2
菓 子	1.2
惣 菜	6.0
その他食料品	2.1
食料品計	2.0
食堂・喫茶	2.1
サービ	9.5
そ の 他	▲6.0
合 計	2.6

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが好調を持続したものの、上旬の天候不順の影響により婦人服は微減となった。紳士服・洋品は、ワイシャツ、ベルトなどの洋品雑貨は好調であったものの、名古屋店第3期改装による売場面積減の影響が大きくマイナスとなった。身回品は、かばん・旅行用品のほか、アクセサリーも好調であった。雑貨は、化粧品が訪日外国人客の増加により好調を持続したほか、時計は前年の2割増、宝石は2桁増となった。家庭用品は、食器・調理用品、リビング雑貨などがマイナスとなった。食料品は、物産展催事が好調の惣菜が牽引した。